

東京都病院協会 会報

東京都病院協会
LTD制度・医療共済制度
引受保険会社



東京海上日動

2023年(令和5年)8月24日

第316号

毎月1回 定価200円(会員購読料は会費を含む)

発行所：一般社団法人東京都病院協会／発行人：猪口正孝 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館404号室
TEL：03-5217-0896 / FAX：03-5217-0898 / URL：https://tha.or.jp / E-mail：thaoffice@tha.or.jp

新任のご挨拶

理事就任にあたって

医療法人財団期望会リハビリテーションセンター院長
東海林 豊

今期(2023年)、東京都病院協会の理事を拝命いたしました、板橋区にある医療法人財団期望会リハビリテーションセンターの東海林豊です。理事という重責の任命を受け、身の引き締まる思いです。2年前までやはり都病協の理事を務めさせていただいておりましたが、今回改めて復帰した形になります。

私が院長を務める病院は、板橋区高島平周辺の地域医療を担う病院で、地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟・療養病棟145床を有しております。急速に高齢化が進むなか、求められる医療の質が急激に変化していることを実感しております。そしてそれに伴って今までとは違った悩みが湧き上がってきていることも痛感しております。

おそらく、同じような診療体制を取っている病院は、同様な変化と悩みを抱えているのだと思っております。



東海林 豊

受診する患者さん・ご家族様、働くスタッフの意識が大きく地軸が動くかのように変わってきており、悩みを会員の病院様と一緒に解決できれば幸甚であります。当院では、「心理的安全性」を大きな命題として掲げて職場環境の改善に取り組んでおります。

前回の理事を務めさせていただいた際に、「医政なくして医療無し」並びに「病院の経営者にはリベラルアーツが必要」であるということ、河北博文名誉会長はじめ、諸先輩から学ばせていただきました。変化が訪れている今だからこそ、再認識をする必要があると思っております。

東京都医師会や東京都の会議に多忙であつた猪口正孝会長が、今期から都病協に専念するとの発言がありまして、都病協でしか成し得ないものは、「①病院の未来像を描くことができれば実現する、②医療制度のよりよき改善を行政とともに成す」と明確なビジョンを掲げられていることに感銘を受け、東京の病院の未来のため世の中によきことを成す一躍を担えるよう頑張りたいと考えております。以前と同様、竹川勝治委員長のもと、渉外・広報・会員組織委員会委員として貢献できるよう努力する所存です。広報を英語では、Public Relations (PR) と言います。

新任のご挨拶

理事就任にあたって

一般社団法人衛生文化協会城西病院理事長
玉城 成雄

複数形です。都病協の知名度を上げるための情報発信をするだけでなく、外部の関係者とのよりよい関係をつくることも任務で、情報発信だけの一方通行ではないと理解しております。

東京都の医療には、病院の存在が何

物にも替えがたいものであることを広く知ってもらい、都病協の知名度を上げていくことに、多方面からのご指導ご鞭撻を賜りながら浅学非才の身ではありますが、尽力したいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

このたび、2023年度定時総会にて本協会理事に選任していただきました、一般社団法人衛生文化協会城西病院理事長の玉城成雄です。

当院は1949年に区西部二次医療圏である杉並区荻窪、環状八号線と青梅街道の交差する四方面道にて開設しました。主にポストアキュートからサブアキュートに対応する地域包括ケア病棟50床、長期療養に対応する療養病床49床、全99床のケアミックス型病院をはじめ、在宅診療、デイケア、デイサービスなど地域のニーズに即した医療・介護サービスを提供。さらに施設



玉城 成雄

および巡回健診、保健指導といった予防医療にも注力しております。

私自身は、大学卒業後、消化器内科医として11年間、大学病院および関連病院で研さんを積み、2008年7月から当院に入職、13年6月より当法人理事長に就任しました。

本協会との直接の関わりは、大久野病院の進藤晃先生の推薦で、20年に慢性期医療委員会委員を拝命して以来となります。同委員会の活動を通じ、本協会が会員病院に対し有益な情報を提供する以外にも、都内病院の地位向上に尽力していることを認識しました。

医療は社会の公器であり、規制産業と位置づけられています。また、病院は労働集約型産業であり、さらに装置産業という側面もあります。公共性の高いインフラであり、各種の厳格な規制下に置かれている医療ですが、とりわけ病院においては、診療所と異なり、さまざまな専門性の高い人材を数多く

寄贈いただいた企業・団体様のご紹介

寄贈いただきました企業・団体様をご紹介します。ご厚意を賜りましたことをご報告するとともに心より御礼申し上げます。今後も引き続き、各企業、団体様からのご支援を東京都病院協会が会員病院の皆様につないでいきます。

東京都病院協会

寄贈団体様	寄贈内容
公益財団法人 東京都歴史文化財団 様	都立文化施設 「ご招待カード」



今夏、日本は地球環境の異常に起因すると思われる猛暑が続いており、熱中症をはじめとする熱関連障害へのリスクがかつてなく増大しています。このような緊急の事態に対応するため、学校、スポーツクラブ、ゴルフ倶楽部などの経営者およびスポーツ大会や屋外フェスなどをはじめとした屋内外で開催されるイベントの主催者に対

- 1 **WBGTの計測と監視**
各施設やイベント会場において、WBGT計測機器の設置と適切な計測・監視を行い環境省の暑さ指数※に基づいた対応の遂行。
・WBGT値を常に把握し、熱中症リスクが高まった場合には早急に対応策を実行。
- 2 **熱中症対策の徹底**
・熱中症予防のための水分や塩分の補給や休憩の頻度を適切に管理。
・ファン付きウェア等、新しいテクノロジーの採用。
- 3 **イベントの時間帯とスケジュールの見直し**
・高温時間帯を避けるために、イベントの時間帯やスケジュールを早朝や夜間に開催することや、開催地を変更するなどの工夫。

地球環境の異常に起因すると思われる有史以来の最高気温が続いている現状において、WBGT(暑さ指数)※などを利用したこれまでの常識にとらわれない熱中症対策をしっかりと行うことを提言いたします。

東京都病院協会の猪口正孝会長と、東京都医師会の尾崎治夫会長は8月4日、小池百合子東京都知事と面会し、「熱中症をはじめとする熱関連障害対策への緊急提言」を提出しました。提言の内容は、次のとおりです。また、同様の提言を環境省・厚生労働省に提出しました。

熱中症に関する緊急提言を提出

そして、東京都における病院の地位向上の一翼を担えるよう努力いたす所存

です。皆様のご指導とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

して、参加者およびスタッフの健康を第一に考えた、これまでの常識にとらわれない熱中症対策をとることを提言いたします。以下に、具体的な対応策を提案いたします。

・特に屋外でのスポーツ大会やイベントなどは、できるだけ涼しい時間帯に実施するよう配慮。

4 必要な情報の提供

- ・参加者や利用者に対して、WBGT値や熱中症対策に関する適切な情報提供。
- ・熱中症予防の重要性を啓発する啓発活動。

これらの対策の徹底によって、熱中症による健康被害を最小限に抑えることが経営者や主催者には求められます。これまでの常識にとらわれない社会全体の協力と行動によって、熱中症死亡事故が起きないようにする必要があります。無作為では責任を果たせません。地球環境の変動に対する対応は喫緊の課題であり、共同の責任です。引き続き、協力し合いながら地域社会全体で熱中症対策に取り組んでまいりましょう。

※暑さ指数(WBGT)の詳細は環境省HPを参照



訃報

2023年7月17日、当協会顧問の中西泉先生(町田慶泉病院理事長)がご逝去されました。

ここに謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げますとともに、そのご功績を讃え深く感謝申し上げます。



東京都病院協会 新委員長・部会長のご紹介

左記のとおり新委員長・部会長が選任されました。何卒よろしくお願い申し上げます。

総務部

高野 研一郎(常任理事)

経理委員会
小泉 章子(常任理事)

渉外・広報・会員組織委員会
竹川 勝治(常任理事)

事業部

教育倫理委員会
川内 章裕(常任理事)

急性期医療委員会
宮崎 国久(常任理事)

回復期医療委員会
内藤 誠二(副会長)

慢性期医療委員会
進藤 晃(常任理事)

医療保険・経営管理委員会
小川 聡子(常任理事)

精神保健委員会
平川 淳一(副会長)

診療情報管理委員会
宮崎 国久(常任理事)

環境問題検討委員会
河北 博文(名誉会長)

医療機能評価受審推進委員会
木村 玄(常任理事)

医療安全推進委員会
青井 東真(常任理事)

部会

事務管理部会
田野倉 浩治

看護管理部会
切手 純代

新型コロナウイルス感染症下における 東京都内病院の運営状況

燃料価格および物価高騰等の影響も含めて

独立行政法人福祉医療機構経営サポートセンター
リサーチグループ

当協会は、令和4年度東京都医師会調査研究委託事業報告書「新型コロナウイルス感染症下における東京都内病院の運営状況」燃料価格および物価高騰等の影響も含めて」を公表した。調査協力機関である独立行政法人福祉医療機構経営サポートセンター・リサーチグループの解説をお届けする。

2020年以降の新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、これまで二度にわたり都内病院の経営状況の調査を実施してまいりました。また、関連項目として、20年度は人材確保や集患状況、21年度では補助金の申請・活用状況なども調査しました。そこで今年度は、経営状況の経年比較を行うとともに、昨今の世界情勢による燃料価格および物価の高騰等による病院経営の影響について、電気代、ガス代、入院時食事療養費などの調査を行いました。本稿では、これらの項目の調査結果を中心に解説してまいります。

対象…都内630病院
回答…128病院(20・3%)

開設主体…医療法人58・6%、国立・公立(独立行政法人を含む)14・1%、大学病院9・4%、一般社団・財団8・6%、社会福祉法人3・9%、その他5・5%

病床数…100床未満21・1%
100床以上200床未満27・3%

200床以上300床未満13・3%
300床以上400床未満14・8%
400床以上500床未満10・9%
500床以上12・5%

なお、本調査から約半年前の22年6月、東京都病院協会では会員病院を対象に22年4月分と21年4月分における電気代、ガス代の同月比較調査を行いました(会報第304号掲載)。この調査は1カ月という短期間での比較だったため、今回は長期的な変化を比較することで、季節変動なども踏まえた影響を調査しています。

都内病院における 電気代・ガス代の推移

はじめに、物価高騰の影響の有無を確認したところ、99・2%とほぼ全ての回答病院から「影響あり」との回答をいただきました。この物価高騰ですが、食材費はもちろん、エネルギーコストも院内の電気代・ガス代から救急車のガソリン代などまで幅広く、そうした細かい項目が積みついていき経営

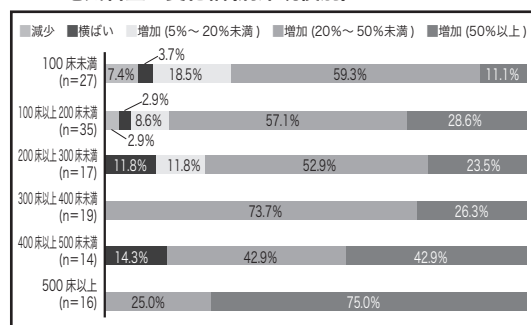
全体への影響として表れている病院も多いと思われます。

病院は公定価格のため、収益の担保にはコストコントロールが重要となります。一番大きなコストは人件費ですが、昨今の賃金上昇の流れもあり抑制は難しいです。よって、各医療機関ではそれ以外の項目での経費削減に取り組んできましたが、それもコントロールできなくなりつつある状況と言えます。これを踏まえ、実際の電気代、ガス代の変化を見ていきます。

まず、22年度上半期の病床規模別1床当たりの電気料金は、100床未満の病院が14万1000円だったのに対し、500床以上の病院は29万1000円と、規模の大きい群と小さい群で2倍以上差がありました。

また、21年度上半期と22年度上半期を比較すると、いずれの病床規模でも8割以上が「増加した」と回答。具体的な変化幅については、100床未満の病院から300床以上400床未満

図1 2021年度上半期と比較した2022年度上半期の電気料金の変化幅(病床規模別)



の病院までは「20%~50%未満」と回答した割合が半数以上を占めていました(図1)。

一方、400床以上500床未満の病院は「20%~50%未満」が42・9%、「50%以上」が42・9%で拮抗し、500床以上の病院は「50%以上」が75・0%を占める結果となりました。つまり、21年度と比べ、中小病院の半数以上が少なくとも1・2倍以上、500床以上の大病院に至っては全体の4分の3が1・5倍以上の電気代の値上げを実感していると言えます。

なお、節電の取り組みの実施状況は、「照明のLED化」「未使用時の消灯の徹底」「空調設定温度の見直し」などの回答が多く見られました。

次いで、22年度上半期の病床規模別1床当たりのガス料金は、100床未満の病院で2万9000円、500床以上の病院で9万4000円と、電気料金と同じく病床規模が大きくなるほど増加傾向にあり、100床未満と500床以上では3倍以上差が開いていました。また、前年度上半期との変化幅についても、いずれの病床規模でも8割以上が「増加した」と回答し、500床以上の病院では「50%以上」の増加が75%を占めているのは電気料金と同様でした。ただ、ガス料金に関しては、500床未満の層でも「50%以上」増加した割合が、電気料金に比べて多いのが特徴です。

さらに、節ガスの取り組みの実施状況に関しては、「特になし」との回答が最も多く、次に「蒸気漏れ等のチェック」「ボイラーの空気比見直し」などが続きました。おそらく、LED交換などの小さな取り組みからでも行え

誰もできない、に挑む。
TGES

脱炭素への
知恵がある。
技術がある。
責任がある。



東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社
都市エネルギー営業本部 公益営業部
TEL: 03-5443-4195
MAIL: kouekib@tokyogas-es.co.jp



TGESの取組みは
こちらで

未来をつむぐ エネルギー TOKYO GAS GROUP

午前9時～午後5時

今回は、全国的に多発している「フィッシング」と「サポート詐欺」を取り上げましたが、個人だけでなく、企業・団体にも被害が及んでいます。業務中に不審なメールが着信したり、警告画面が出た際には、システム担当者に速やかに報告してください。